

# 人権教育だより

京丹後市立大宮中学校

令和元年 11 月 21 日

～自分も仲間も大切にできる思いやりの心を育てよう！～

No.7



## 3年生人権学習

## 共生社会の実現を目指して



大宮中学校では、2学期の人権学習で“心身の機能に障害を持つ人”についての学習をしています。日本には、16人に1人（国内総人口の6%）心身に機能の障害がある人がいるといわれています。また高齢になると心身のはたらきに不具合が出てくることも、普通にあることです。まずは、この人権学習をとおして、障害や特性について正しく「理解すること」。そして、困りごとや痛み「気づくこと」が大切です。それが、「心のバリアフリー」の目指す共生社会の第一歩です。

3年生の人権学習では、障害のある人、特に視覚のハンディについての学習を深めました。生活上のバリア（障壁）について考え、どんな「合理的配慮」をしたらいいのかを学びました。その一環として、実際に視覚障害の方と交流する事前学習として「アイマスク体験」をしました。



「アイマスク体験」では、白内障、視野狭窄<sup>しやきょうさく</sup>の視野体験の時は、「見えにくい！」「見えにくいけど、ほんやりでもまだ見える」「視界に明るさがあるので、まだ安心できる」という声がありましたが、全盲のゴーグルにしたとたん、「こわー」「真っ暗なので気持ち的に不安感でいっぱいになる」という声になり、慣れた学校でも、一歩進むのが不安そうな様子でした。誘導する側の的確な声かけがいかに重要になってくるか、身をもって体験できたことと思います。

## 視覚障害の方と交流をしました

### 歓迎の演奏と合唱

「丹後視覚障害者社会教育指導者研修会」に参加して

11月14日（木）、3年生は丹後視覚障害者社会教育指導者研修会に参加しました。ブラスバンド部による「パプリカ」の演奏と振り付けで場を和ませてくれた後、3年生が「天の川」「おおみや学園の歌（3部合唱）」を披露しました。視覚障害者の方との交流では、工夫を凝らした自己紹介で話しやすい雰囲気になったあと、“すべての人に優しい丹後をつくるために”というテーマで話し合いをして学びを深めました。





☆今日の交流で僕はいろんな発見ができた。まず印象に残っているのは、「手伝いましょうか」や「僕にできることはありますか」などの声をかけると嬉しいと言ってくれたことだ。僕は今まで声をかけたいとは思ってももし声をかけて嫌な思いをされたらと思うと、どうしてもかけられなかった。だが実際に目の不自由な A さんから「声をかけられるのはうれしい」という意見を聞いて、なんだか心がスッキリしました。だからこれから体の不自由な人に出会った時に、声をかけようと思った。

また、パラリンピックの話では、いかに僕がそういうことに関心がなかったんだと思った。だから、もっとそういうことに関心をもってたくさんの方の話を学べば、自分の自信につながると思った。今日の交流をとおして、たくさんの発見ができて、今後の生活でも考え方が変わったと思った。  
(1組男子)



1組

☆正直交流会に対して、結構不安がありました。しかし、合唱で歌うときに会場に入ったとたんから、とてもあたたかな雰囲気でもて迎えてくださり、交流の場ではとても気さくに話をしてくださいました。交流の中で視覚障害者の方の考えに触れたり、逆に私たちの考えも相手に伝えたりすることにより、私たちの間であたたかいつながりが生まれたように思います。まさに心の距離が近くなった感覚でした。実際に触れあったからこそ感じたものだと思います。もっともっと京丹後にこのつながりを持たせたい、そんな気持ちも芽生えました。

こうした機会はなかなか今後ないのかもしれませんが、私たちは様々な人と出会い、たくさんの経験をします。その中で自分のために相手のために、今日の学習を生かしたいです。  
(2組女子)



2組

☆交流をする中で、視覚障害者の方に質問する場面があって、その中で相手の方が「このような交流や普段のイベントでいろいろな方とお話することが楽しい。暗い人もいるけれど、基本的にみんな明るく生活している。初めから目が見えない人は、ほとんど明るい人たちばかり、途中でなった人は悲しさが大きくて暗い人がいるけど、みんな趣味を見つけ楽しく生活している。」と聞いたとき、みなさんはポジティブに生活しておられ、自分が情けないな、と感じる部分がありました。私のグループの人はとても明るく、いろいろな質問に丁寧に答えてくださいました。好きなことは歌を歌うこと、カラオケが大好きでカラオケ大会では、周りはみんな目が見える人ばかりだけど、自分ひとりで参加していると聞き、それだけ歌がお好きなんだと感じました。みんなで歌を歌ったことも、とても楽しかったです。相手の方は、ひとりで歌を披露してくださって、目が不自由でもこんなに笑顔で楽しそうにされている姿に感動しました。

将来の夢を一人ひとり言っていた時、「応援しています！」という一言が心に残りました。同じグループではなかったですが、先週偶然再会することがあり、とても嬉しかったです。  
(3組女子)



3組

声をかけてくださり  
ありがとうございます

私たち視覚障害者は、バスや電車で  
空席があっても分かりません。  
道に迷ったら方向が分からなくなります。  
声をかけてくださり本当に嬉しかったです。

声をかけてもらって安心できる  
だけでなく心がなごみます。  
これからも私たちの仲間を  
見かけたら、お声かけを  
よろしくお願いいたします。



生徒代表のお礼の言葉

